

静岡県 日本語 ボランティアセミナー 2021

今年は
オンライン
開催!

スマホでかんたん申込



2021年1月17日(日)

オンライン会議システムZOOMを利用してご参加ください



参加費 無料

- 申込み ①氏名、②所属団体、③緊急連絡先(携帯番号)
④資料を受信できるメールアドレス
⑤参加を希望する講義(第1部のみ、第2部のみ、両方)
を明記し、Eメールにて申し込みください

ウェブサイトからもOK <http://www.sir.or.jp>

先着順で受付 定員になり次第、締め切り



第1部 10時00分～11時30分 定員50名

[講演 + パネルディスカッション]

コロナ禍に試される多文化共生

-コロナ禍が外国人住民にもたらした困難を振り返る-

新型コロナウイルスは、日本語を学んでいる留学生、子ども、実習生等にどのような影響を与えたのでしょうか。多文化共生の視点に立って考えましょう。

第2部 13時00分～16時00分 定員50名

[解説 + 情報交換会]

オンライン日本語活動のすすめ

-実践者から活動のヒントを聞こう-

「オンラインの日本語活動ってどうやるの?」、「どういった活動ができるの?」など疑問や不安がある方、操作方法や機能を知って、活動に役立てませんか。

第1部 10時00分～11時30分

[講演 + パネルディスカッション]

コロナ禍に試される多文化共生

-コロナ禍が外国人住民にもたらした困難を振り返る-

講師 / 高貝 亮氏(公益財団法人静岡県国際交流協会会長/弁護士)

報告者 / 佐々木 綾氏(静岡日本語教育センター校長)

知念 カヨコ氏(エスコラ・オブジェクター・ジ・イワタ校長)

ラクスミ・デワヤニ氏(静岡県多文化共生総合相談センター「かめりあ」相談員ほか)

新型コロナウイルスは、外国人住民の生活にどのような影響を与えたのでしょうか。講師の解説に加え、日本語を学んでいる留学生、ブラジル人学校生徒、外国人技能実習生等に関わる方から、それぞれの視点で現状と課題についてお話を伺います。

第2部 13時00分～16時00分

[解説 + 情報交換会]

オンライン日本語活動のすすめ

-実践者から活動のヒントを聞こう-

講師 / 三田地 真実氏(星槎大学大学院 教育学研究科)

実践者 / 石井 千恵子氏(のびっこクラブみしま代表)、半場 和美氏(NPO法人フィリピンナガイサ)

地域の日本語教室は、3月半ばから活動を休止した団体が多く、交流イベントも中断されました。実際にオンライン授業を2016年から実践しており、500人以上の大学教員にそのための研修をした講師からオンライン(ZOOM)の有効活用の方法や注意点について学んだ後、オンラインで日本語活動をしている実践者に活動例を紹介していただきます。参加者同士の情報交換もします。



注意事項

ZOOMのインストールや実施に伴う設備環境等に関しては自己責任のもとご使用ください。

参加にはウェブカメラ、マイク付きのパソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかが必要です。データ通信等にかかる費用は参加者にてご負担ください。

セミナー当日は機器への接続や機能等に関する対応はいたしません。受付完了後、接続テストの実施日を別途ご案内しますので、できるだけご参加ください。